この取扱説明書は再生紙を使用しています。

事業所	郵便番号	住所	電話
本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6−6	TEL(03)3669-8121(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6−12−8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2−1−29	TEL(022)236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6−6	TEL(03)3669-8118(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1−11−23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1−3−18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7−11−24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1−5−1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2−10−3	TEL(019)621-3541(代)
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町2313	TEL(028)636-3012(代)
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297−12	TEL(04)7132-1500(代)
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町5−17−19	TEL(042)528-3051(代)
水戸営業所	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2−3−27	TEL(029)255-3761(代)
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東2−22−15	TEL(053)439-3300(代)
神戸営業所	〒650-0017	神戸市中央区楠町6−2−4	TEL(078)367-1580(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3−24	TEL(099)269-5347(代)
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2−14−28	TEL(0256)34-2112(代)
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町233−5	TEL(027)210-7755(代)
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町3−421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870−1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7−6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島1−35−1	TEL(026)285-6740(代)
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市駿河区敷地1−3−26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2−15	TEL(076)240-1871(代)
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割10−8	TEL(076)452-0182(代)
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東2−1711	TEL(0776)27-3378(代)
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3−23−28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761−3	TEL(087)866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0863	徳島市安宅2−4−46	TEL(088)623-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2−1−35	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6−12−8	TEL(011)231-6487(代)
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2−1−29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL(027)350-7820(代)
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3−421	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1−11−23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1−3−18	TEL(06)6446-0815(代)
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音7−11−24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1−5−1	TEL(092)451-6430(代)

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料)　**0120-228-358**

月〜金曜日 午前9時〜午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

061121

レーザ距離計

LS-311

取扱説明書

⚠警告

- お使いになる前に、必ず本書をよく読んでください。
- 禁止されている方法で使用すると、傷害、故障、および物的損害をもたらすことがあります。
- レーザ光を直接見たり、レーザ照射口をのぞきこまないでください。
- レーザ光を人に向けて照射しないでください。
- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。
- 水、薬品などが機械にかからないようにしてください。
- 必ず、十分な測定スペースを確保してください。また、現地の事故防止規則、道路安全規則に従ってください。
- 梯子を使用しているときや稼動中の機械のそばや、保護されていない機械や設備の部品のそばで測定しているときに、足場上で、故意の、または無責任な行動をとらないでください。
- 必ず純正のレーザ距離計用アクセサリをご使用ください。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。

●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

必ずお読みください

はじめに

この度はマックス レーザ距離計 LS-311をご購入いただき誠にありがとうございます。本機は測定業務の効率化と作業品質の向上を目指して開発されたハンディな屋内用レーザ距離計です。本機は、①**距離の測定**、②**面積や容積の計算**を使用目的として作られています。簡単な操作で、従来時間のかかっていた作業を容易なものにします。末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

レーザクラス

本機は、可視のレーザ光を本体前面から照射します。本機は、次の規格に基づくクラス2レーザ製品です。

●IEC60825-1：2001**「レーザ製品の放射安全性」**
●EN60825-1：2001**「レーザ製品の放射安全性」**

本機は次の規格に基づくクラスⅡレーザ製品です。

●FDA21CFR Ch.I § 1040：2004
（アメリカ合衆国 保険社会福祉省、連邦規制基準）

※レーザクラス2／Ⅱとは；
不必要に、レーザビームをのぞき込んだり、他の人に向けたりしないでください。
通常は、まばたきを含む嫌悪反応により目が保護されます。

次項以降の「警告」「注意」表記をよくお読みになり、記載事項に従った取り扱いをしてください。

電磁波環境適合性（EMC）

「電磁波適合性」とは本機に電磁放射や静電気の放電がある環境で円滑に機能する性能があり、また、他の機器に電磁干渉を与えないことを意味します。

⚠警告：
電磁放射は他の機器に干渉を起こすことがあります。
本機は、この件について施行されている厳格な規則や標準規格に適合していますが、販売元であるマックス株式会社としては、他の機器への電磁干渉を起こすかもしれないという可能性を完全に除外することはできません。

日本測量機器工業会発行「測量機器の安全確保のための表示に関するガイドライン」（第三版）に基づく表示

⚠警告：
故意に人体に向けて使用しないでください。レーザ光は人体や眼に有害です。万一、レーザ光による障害が疑われるときは、速やかに医師による診察処置を受けてください。

⚠警告：
機器を据え付けた状態で使用してください。やむを得ず手で保持して使用する場合は周囲に人がいないことを確認の上使用してください。

注意：
レーザ製品は、誤って使われないように子供など製品知識を持たない者の手に触れることの無いよう保管してください。

⚠注意：
レーザ光が不意に眼に入ると眼のまばたきによって不注意状態を生じ、思わぬ事故を誘発する恐れがあります。レーザ製品は、車を運転する人や歩行者の目の高さを避けて使用してください。

⚠注意：
測定時以外は電源を切ってください。

必ずお読みください

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
⚠注 意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

メモ

操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照

説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

△	「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
⊘	「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
●	「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

ご使用上の注意

⚠ 警　告	
	●**お使いになる前に、必ず本書をよく読んでください。** 取り扱い説明を受けなかったり、説明が不十分だったりすると、本機を誤った方法、または禁止されている方法で使用してしまう可能性があり、広範囲にわたる、人的、物的、環境的損害につながることがあります。
⚠	●**禁止されている方法で使用すると、傷害、故障、および物的損害をもたらすことがあります。** 本機の使用者に、その危険性と、いかにそれを回避するかを伝達するのは、本機を管理する方の職務です。本機を操作する前に、使用者は必ず取り扱いの説明を受けてください。
⊘	●**レーザ光を直接見たり、レーザ照射口をのぞきこまないでください。** 目を傷める恐れがあります。
⊘	●**光学補助機器（例えば、双眼鏡や望遠鏡など）でレーザ光を直接見ないでください。**目を傷める恐れがあります。
⊘	●**レーザ光を人に向けて照射しないでください。**
	●**本機は絶対に分解または改造しないでください。また、安全装置をオフにしたり、説明や危険に関するラベルを剥がさないでください。**
⊘	●**本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。** 本機の故障の原因になります。
⊘	●**水、薬品などが機械にかからないようにしてください。**万一内部に水などが入った場合は、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
⊘	●**異常を感じたら本機を絶対に使わないでください。**
	●**必ず、十分な測定スペースを確保してください。また、現地の事故防止規則、道路安全規則に従ってください。** 公共道路上、建設現場、または工場などで、測定スペースを十分に確保しなかったり、きちんと標識を立てなかったりすると、危険な状況を作り出すことになります。

必ずお読みください

ご使用上の注意

⚠ 警告

●梯子を使用しているときや稼動中の機械のそばや、保護されていない機械や設備の部品のそばで測定しているときに、足場上で、故意の、または無責任な行動をとらないでください。

●必ず純正のレーザ距離計用アクセサリをご使用ください。
ほかの製造元のレーザ距離機計用アクセサリを本機とともに使用すると安全性や測定精度が維持できない場合があります。

●本機を廃棄する場合は、法律に従って適切に廃棄してください。必ず、本機を使用する権限の無い人の手に渡らないようにしてください。

⚠ 注意

●本機に欠陥がある場合、または、本機を落としたり、誤った使用をしたり、改造した場合、距離が誤測定される恐れがあります。予防措置として、定期的に試験測定をしてください。特に、本機を通常でない形で使用した後や、重要な測定の前後と最中に試験をしてください。また、レンズに汚れが無く、本体に機械的損傷が無いことを確かめてからお使いください。

●本機は、制御装置としてではなく、測定センサーとしてのみ使用してください。本機を、距離の測定や、動いている物体（例えば、クレーン、建設機械、プラットフォームなど）の位置の確定に使用している場合、予測しない事態により、誤測定が起こる場合があります。

⚠ 警告

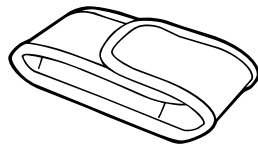
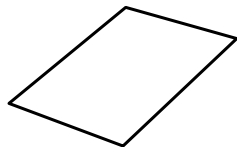
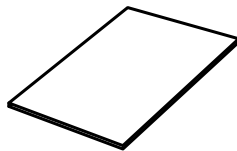
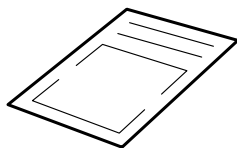
●使い切った古い乾電池は、家庭ゴミと同様の扱いで捨てないでください。環境保護のため、廃棄電池は国や地域の規定により設置された回収場所に持っていってください。

●製品を家庭ゴミと同様の扱いで捨てないでください。製品を廃棄する場合は、国の規定を適切に守り行ってください。

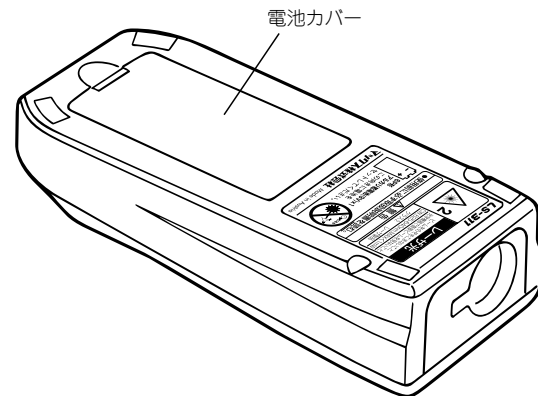
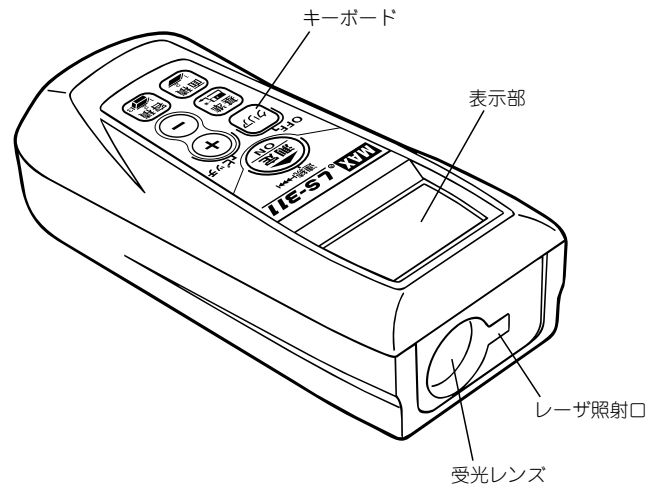
目次

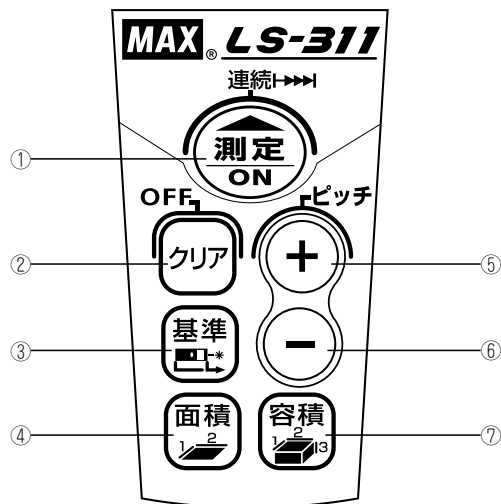
第1章　お使いになる前に

1.1 同梱品をご確認ください

①本体

②ホルスターケース

③クイックスタートガイド

④取扱説明書

⑤保証書

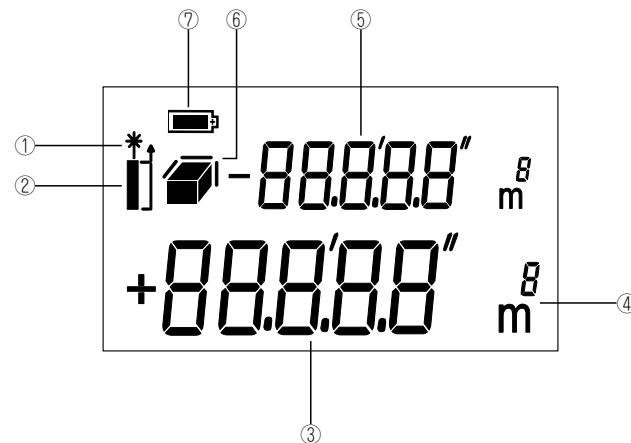
⑥6P形アルカリ乾電池（9V）1個

1.2 本体各部の名称

☆製品貼付のラベルは20ページを参照してください。

1.3 キーボード

	キー	機　　能	参照ページ
①	測定／ON／連続	電源ONと同時にレーザが照射されます。 長押しで連続測定します。	9
②	クリア／OFF	直前の測定値をクリアします。 長押しで電源をOFFにします。	8、6
③	基準	測定基準を前端または後端のいずれかに設定します。	7
④	面積	面積計算を行います。	13
⑤	「＋」／ピッチ	測定値に加算（足し算）します。 長押しでピッチ測定機能が使えます。	12、10
⑥	「ー」	測定値に減算（引き算）します。	12
⑦	容積	容積計算を行います。	14

メモ

☆①のボタンを押すと表示部のバックライトがオンになります。
3分間機器を操作しないと自動的にバックライトと電源がオフになります。

1.4 表示部

①レーザ照射「オン」表示
②測定基準（本体前端／本体後端）
③メイン表示
④単位
⑤サブ表示
⑥面積／容積
⑦電池残量表示

☆電池残量がわずかになると⑦の電池残量表示が点滅します。

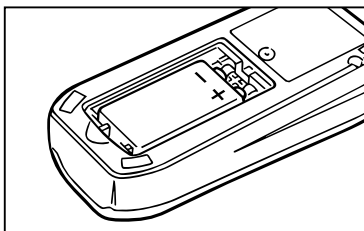
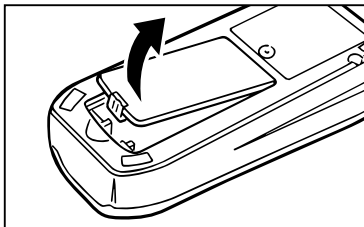
第2章　本体の準備をします

2.1 電池の挿入／交換方法

1. 本体裏面を上に向けます。

2. 図のように電池カバーロックを押し上げて開きます。

3. 図のように電極方を合わせ電池を挿入します。

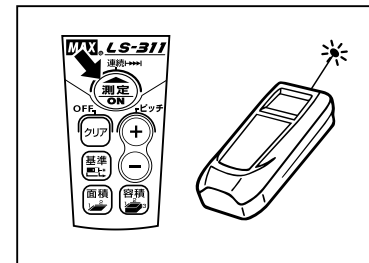
4. まず電池カバーの突起を先にはめ、閉じます。

お願い

☆アルカリ乾電池を使用してください（充電式電池、マンガン電池は使用しないでください）。
☆長期にわたって本体を使用しない場合は、電池を本体から取り外しておいて下さい。（液漏れの危険があります。）

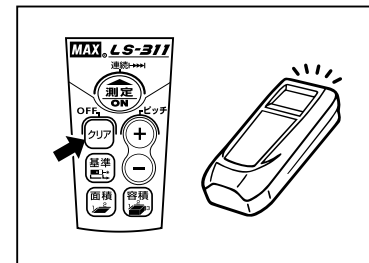
2.2 電源の入れ方／切り方

2.2.1　電源の入れ方

1. (測定 ON) キーを押すと電源が入り、同時にレーザが照射されます。何かキーを押すまで、電池残量のアイコンが表示されます。

⚠ 警　告

●人に向けたり、レーザ照射口を覗き込んだりしながら電源を入れないでください。

2.2.2　電源の切り方

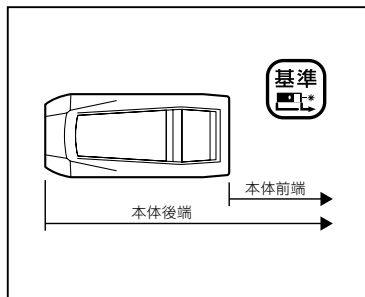
1. (クリア) キーを長押し（約1秒間）すると、電源が切れます。

メモ

☆30秒間機器を操作しない場合は、自動的にレーザ照射がオフになります。
☆3分間機器を操作しない場合は、自動的に電源がオフになります。

2.3 測定基準の設定

測定基準を本体前端、本体後端のいずれかに設定することができます。
電源オン時は本体後端に設定されています。

1. 測定基準を変更する場合は [基準] キーを押してください。

2. [基準] キーを押すたびに測定基準表示が切り替わります。

☆測定基準が切り替わると、操作音も測定基準に合わせて切り替わります。
☆測定基準が本体前端の場合、操作音は「プッ」と低い音になります。
☆本体後端の場合、操作音は「ピッ」と高い音になります。

2.4 表示部の照明

1. 電源ONにした時、または電源ONの時にキーボード上のいずれかのキーを押すと表示部のバックライトがオンになります。
3分間本体を操作しない場合は、自動的にバックライトがオフになります。

2.5 クリア

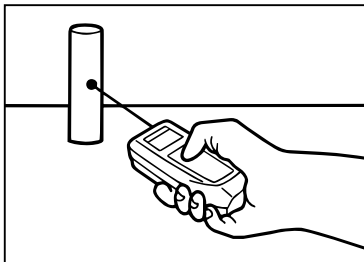
1. [クリア] キーを押すと、直前に選択した機能を取り消すことができます。

また、[クリア] を押して、測定値の消去や最後の入力をキャンセルすることができます。

第3章　測定しましょう

3.1 距離を測定する

1. 測定ON キーを押してレーザをオンにします。
2. 距離を測定するターゲットを狙ってレーザを照射します。
3. 測定ON キーをもう一度押します。
4. 測定された距離がメイン表示部に表示されます。
   正しく測定できない場合は、メッセージコードが表示されます。

お願い

☆12m以上の距離を測定する場合は、ターゲットプレート（別売）をご使用ください。
☆本機は屋内での測定用です。屋外で使用すると測定性能が変わる場合があります。

☆メッセージコードは、17ページを参照してください。

3.2 連続測定をする

移動する対象の測定や、固定の対象に対する墨出しなどに使用できます。

1. 電源が入っている状態で 測定ON キーを長押し（約1秒間）すると、連続的にレーザが照射されます。
2. 連続測定モードに入り、現在の測定値がメイン表示部に表示されます。
3. 測定ON キーをもう一度押すと、押した時点の測定値が表示部に表示され、連続測定が終了します。

3.3 ピッチ測定をする

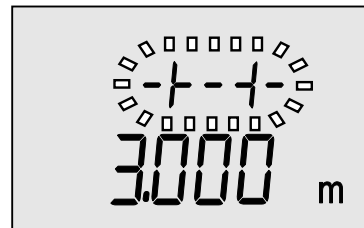
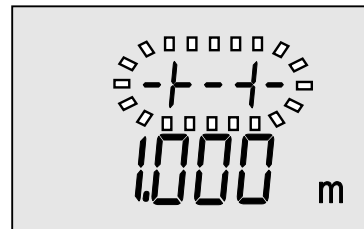
ピッチ測定機能を使うと、等間隔の位置決めが簡単に行えます。床工事や照明工事等で、一定間隔を連続して測定する時に便利です。
表示部に位置決めしたい長さを設定表示してから、本体をゆっくり移動すると、位置決めした長さの付近で、ビープ音が知らせてくれます。

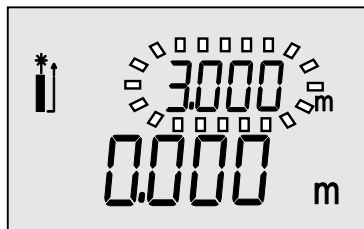
〈操作方法〉

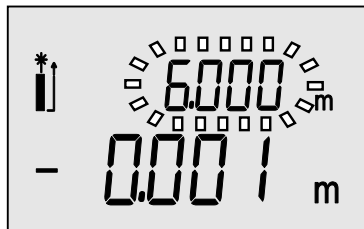
1. 電源が入っている状態で ＋ キーを長押し（約1秒間）すると、サブ表示部が点滅します。

2. ＋ または － キーを使用し、必要な長さを表示します。長押し（約3秒間）すると数字が大きく変わります。

3. 測定ON キーを押すと、サブ表示部に設定したピッチ長、またはその倍数の長さが表示され、メイン表示部にはその位置でのピッチ長に対する過不足が表示されます。
   過不足が「0.000」になるように、本体を予め用意しておいた位置決め作業用の線に沿って動かします。

第3章 測定しましょう

4. 過不足が「ー」の場合は、ターゲットに対し本体が近付き過ぎなので離してください。逆に「＋」の場合は、離れ過ぎなので近付けてください。測定値は本体の動きに合わせて変化します。

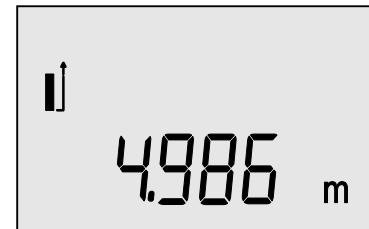
5. ピッチ長に対し、本体が±100mmの地点からビープ音が鳴ります。また、±1mmの地点でビープ音が変化し、サブ表示部の表示が点滅します。

6. さらにターゲットから本体を離していくと、設定値の倍数に対する過不足が表示されます。
これらを繰り返すことで、等間隔のマーキングを行ったり、設定値の倍数位置を知ることができます。

メモ

☆ピッチ測定の設定範囲は、0.1m〜10mです。また1mm単位で設定できます。

第4章　計算機能を使います

4.1 加算（たし算）・減算（ひき算）

測定した距離、または計算結果を加算（たし算）または減算（ひき算）します。
この操作は繰り返し行うことができます。

1. 1回目の測定を行います。

2. 加算の場合は ＋ キー、減算の場合は − キーを押します。
1回目の測定値がサブ表示部に移動します。

3. 次の測定を行います。
サブ表示部に2回目の測定値が表示され、メイン表示部に1回目の測定値に加算または減算した計算結果が表示されます。

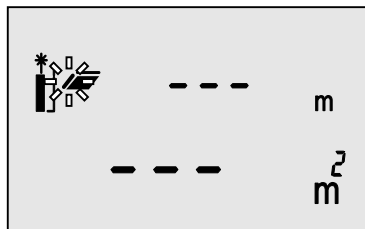
☆ クリア キーを押すと、最後の測定値を取り消すことができます。

4.2 面積を計算する

1. 面積キーを1回押します。

2. ▱ が表示され、レーザが照射されます。

3.「長さ」を測定します。測定値がサブ表示部に表示されます。

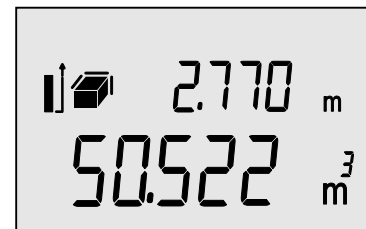
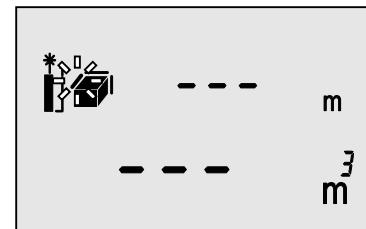
4.「幅」を測定します。サブ表示部に幅の測定値が表示され、メイン表示部に面積の計算結果が表示されます。

4.3 容積を計算する

1. 容積キーを1回押します。

2. ▣ が表示され、レーザが照射されます。

3.「長さ」を測定します。測定値がサブ表示部に表示されます。

4.「幅」を測定します。サブ表示部に幅の測定値が表示され、メイン表示部に面積の計算結果が表示されます。

5.「高さ」を測定します。サブ表示部に高さの測定値が表示され、メイン表示部に容積の計算結果が表示されます。

☆面積及び容積は、測定する2辺、または3辺が直角に接している必要があります。

☆面積及び容積の測定では クリア キーを押すことで、直前の測定値をキャンセルし、測定をやり直すことができます。

第5章　測定条件

5.1 測定範囲

本機は屋内用です。測定範囲は0.05～60mです。
日中屋外で測定を行った場合、測定できる距離は短くなります。ただし、夜間、夕暮れ時またはターゲットの領域が日陰になっている場合は、測定できる距離は長くなります。

お願い

☆12m以上の距離を測定する場合は、ターゲットプレート（別売）をご使用ください。

5.2 測定対象の制約

測定対象物の表面がつや消し、緑色、青色のもの、樹木や植物に対して測定を行った場合、測定できる距離は短くなります。

5.3 測定面

5.3.1　測定面が粗い場合

粗い表面（例えば、きめの粗い石膏など）では、レーザスポットの中心部分までの距離が表示されます。

5.3.2　石膏ボード等の継ぎ目を測定する場合

ターゲットプレート（別売）を使用すると測定しやすくなります。

5.3.3　測定面が透明な場合

測定の誤りを防ぐために、無色の液体（例えば水など）や（ほこりのついていない）ガラス、発泡性ポリスチレン、または同様の半透明の面に向けて測定しないでください。特殊な素材や液体については必ずテスト測定を行ってください。
窓ガラス越しに照射する場合、または照射線上に障害物がある場合には、正しい測定値が得られない場合があります。

5.3.4　測定面が濡れている場合・平滑または光沢のある場合

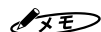
平坦に近い角度で照射すると、レーザ光線が偏向します。本機が受け取る信号が弱すぎる場合があります（メッセージコード255）。このような場合には、ターゲットプレート（別売）をご使用ください。（茶色の面）
直角に照射した場合、本機が受け取る信号が強すぎる場合があります（メッセージコード256）。このような場合には、ターゲットプレート（別売）をご使用ください。（灰色の面）

5.3.5　測定面が傾きのある場合・丸い面の場合

レーザスポットを照射するのに十分な領域が必要です。

付 録

付.1 メッセージコード

メッセージコード	原 因	処 置
204	計算エラー	計算をやり直してください。
252	温度が高すぎる	本体が高温になっています。冷暗所に置き、本体を冷やしてください。
253	温度が低すぎる	本体が動作環境より低い温度に冷えています。本体をあたためてください。
255	受信シグナルが弱すぎる。測定時間が長すぎる。測定距離が60mを超えている。	ターゲットプレートを使用してください。(茶色の面)
256	受信シグナルが強すぎる	ターゲットプレートを使用してください。(灰色の面)
257	誤測定。周囲が明るすぎる。	ターゲットプレートを使用してください。(茶色の面)

☆正常動作しなくなった場合、ハードウェアエラーが考えられます。機器の電源をオン／オフ数回行い、正常に動作できるか確認してください。それでも正常動作しない場合は、ご購入販売店またはマックスサービス㈱に連絡してください。

付
録

付.2 主な製品仕様

項 目	仕 様
製品名	LS-311
測定範囲	0.05m～60m (長い距離ではターゲットプレートを使用)
測定精度	±1.5mm ※1
測定時間	3秒以下 ※2
最小表示値	0.001m
レーザクラス	クラス2
波長	635nm
最大出力	1mW未満
レーザスポット径(距離)	6/30mm (10/50m)
保護構造	IP5X ※3
表示部	LCD、バックライト付
測定基準	2箇所(前端、後端)
自動電源オフ	3分
保存温度範囲	−25℃～70℃
使用温度範囲	0℃～40℃
電源	6P形アルカリ乾電池(9V) 1個 最高5,000回の測定 ※4
寸法	124×56×34mm
質量(電池含む)	155g

※1 測定精度は、95%の統計的信頼度を示しています。(100回中95回の測定時の誤差が測定精度の範囲内に収まります。)適切な状態(最適なターゲット面、室内温度)での測定範囲は12mまでです。12m以上測定する場合は、ターゲットプレートの使用が必要です。明るい日光の下、反射が弱いターゲットや粗い面の測定などの悪条件下では測定誤差が発生し、ターゲットプレートを使わない12m以上の測定では、測定精度は約±0.25mm/mまで減少する場合があります。
※2 測定距離、測定条件で異なります。
※3 機器が防塵型。粉塵が内部に進入することを防止します。
※4 測定条件、使用方法で異なります。

本機の仕様は機能向上のため、将来予告なく変更することがあります。

付
録

付.3　手入れ

機器を水にさらさないでください。水で湿らせた柔らかい布で埃を拭き取ります。強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。レンズの表面は、眼鏡やカメラなどと同様な手入れをしてください。

付.4　保証書／アフターサービス

同梱の保証書の記載内容に基いて製品保証いたします。基本保証期間はご購入日より1年間です。「お客様登録カード」にて登録手続きをしていただいたお客様に限り、保証期間が2年間になります。ご相談ならびにご不明な点はお買い上げの販売店または、巻末に記載の最寄りの弊社営業所、マックスサービス㈱までお問い合わせください。

付.5　お問い合わせ方法

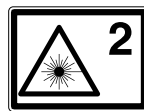
お問い合わせの際は、ご使用の製品とご使用環境に関する情報をご用意ください。

1. 製品名
2. シリアルナンバー：（電池部のラベルに印刷されています。）
3. 具体的な内容
   行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、メッセージコードが表示されている場合は、メモを取ってお知らせください。

製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合でも、まず、お客様相談ダイヤルへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をしなくても解決できる場合があります。

マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）
0120−228−358

月～金曜日　午前9時～午後6時
「ナンバーディスプレイ」を利用しています。

ラベル表示

レーザー光

ビームをのぞき込まないこと
レーザークラス2
acc.　IEC 60825−1：2001

最大放射電力	：	＜1mW
放射波長	：	620～690nm
ビームの発散	：	0.16×0.6ミリラジアン
パルス期間	：	1×10^{-9}s

付録